

岩手県感染症週報

令和4年第39週 (9月26日～10月2日)

岩手県感染症情報センター

第39週の概要

1 類感染症

- 患者発生の報告はありませんでした。

2 類感染症

- 結核の報告が2例ありました。そのうち1例は潜在性結核感染症でした。

3 類感染症

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例ありました。

4 類感染症

- レジオネラ症の報告が1例ありました。

5 類感染症 (全数把握対象疾患)

- 梅毒の報告が1例ありました。
- 播種性クリプトコックス症の報告が1例ありました。
- 百日咳の報告が1例ありました。

5 類感染症 (定点把握対象疾患)

- 手足口病は久慈地区のみ警報値 (定点当たり患者数5人) を超えました。飛沫及び接触感染のほか、便中に排出されたウイルスからも感染します。手洗いをしっかり行い、患者との濃厚接触やタオルの共用を避けることが重要です。まれに髄膜炎や脳炎を併発する場合がありますので、頭痛、嘔吐、高熱が続く場合は早期に受診しましょう。
- RSウイルス感染症は、二戸地区で増加しました。症状は軽い風邪様から重い肺炎まで様々で、特に乳幼児と高齢者は重症化しやすいので注意が必要です。手洗いと咳エチケットで予防しましょう。

○ 新型インフルエンザ等感染症

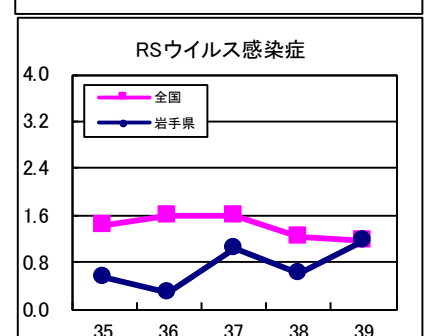
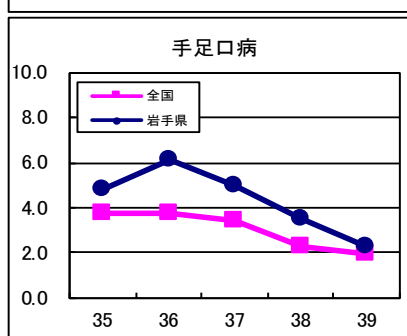
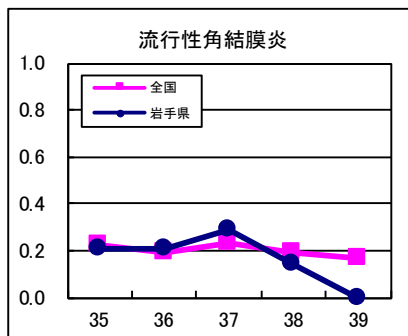
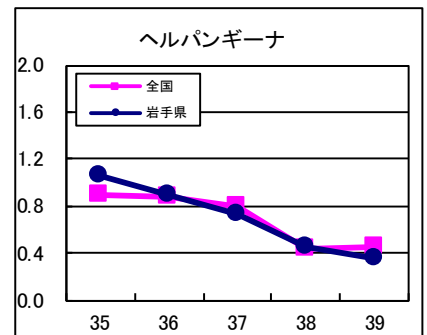
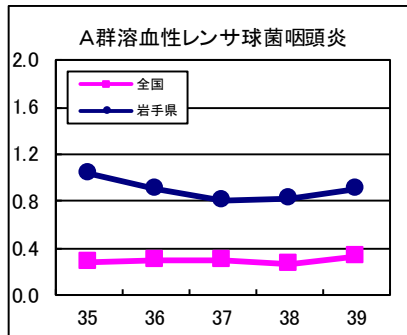
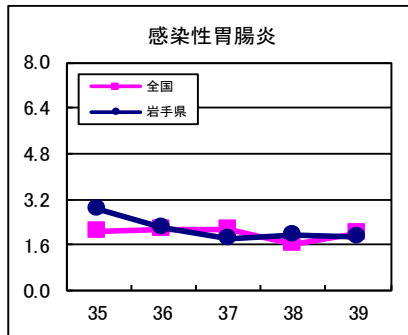
- 新型コロナウイルス感染症の新規患者報告数は2186人で、前週比655人減でした。9月26日から「全数把握」が簡略化され、発生届は高齢者など重症化リスクのある人に限定されました。発生届の対象外の人や自己検査で陽性となった人は、医療機関で配布されるチラシや県ホームページを参考に、インターネットや電話により「いわて陽性者登録センター」に登録することが大切です。

「岩手県・新型コロナ対策
パーソナルサポート
(@iwatevscovid19)
ID検索またはQRコードか
ら友達追加



最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが異なることに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

報告週対応表 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/calendar.html>

※2018年1月1日より百日咳が5類感染症 (定点把握疾患) から5類感染症 (全数把握疾患) へ変更されました。
 ※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾患となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向
		35	36	37	38	39	
インフルエンザ	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.02	→
	全国	0.03	0.03	0.02	0.02	0.01	
RSウイルス感染症	岩手県	0.55	0.28	1.03	0.60	1.15	↗ ☆
	全国	1.44	1.60	1.60	1.24	1.18	
咽頭結膜熱	岩手県	0.03	0.10	0.03	0.03	0.05	→
	全国	0.07	0.06	0.07	0.04	0.05	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	1.03	0.90	0.80	0.83	0.90	→ ☆
	全国	0.28	0.29	0.30	0.26	0.33	
感染性胃腸炎	岩手県	2.88	2.20	1.85	1.93	1.88	→ ☆
	全国	2.10	2.15	2.14	1.64	2.01	
水痘	岩手県	0.18	0.10	0.15	0.03	0.08	→
	全国	0.05	0.05	0.07	0.04	0.06	
手足口病	岩手県	4.80	6.15	5.00	3.53	2.25	↘ ☆☆
	全国	3.74	3.77	3.42	2.26	1.98	
伝染性紅斑	岩手県	0.03	0.00	0.03	0.00	0.00	→
	全国	0.01	0.02	0.02	0.01	0.01	
突発性発疹	岩手県	0.40	0.23	0.33	0.15	0.28	→ ☆
	全国	0.27	0.27	0.27	0.22	0.27	
ヘルパンギーナ	岩手県	1.05	0.90	0.73	0.45	0.35	→ ☆
	全国	0.89	0.88	0.80	0.43	0.45	
流行性耳下腺炎	岩手県	0.03	0.13	0.13	0.03	0.13	→ ☆
	全国	0.03	0.04	0.04	0.03	0.04	
急性出血性結膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.00	0.01	0.01	0.01	0.01	
流行性角結膜炎	岩手県	0.21	0.21	0.29	0.14	0.00	→
	全国	0.22	0.19	0.23	0.19	0.17	
細菌性髄膜炎	岩手県	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01	
無菌性髄膜炎	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.05	0.00	→
	全国	0.01	0.01	0.01	0.02	0.03	
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.00	0.05	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	-	0.00	0.01	0.00	-	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	全国	0.01	0.00	0.00	0.00	0.01	
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	0	0	
	全国	4	-	-	-	-	

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※ジカウイルス感染症が2016年2月15日から四類感染症に追加されました。

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)	岩手県					全国	
		35	36	37	38	39	累計	39	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染患者再掲	5 (4)	5 (4)	9 (4)	1 (0)	2 (1)	100 (48)	226	10865
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	1
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	14
	腸管出血性大腸菌感染症	1	0	2	0	1	70	113	2623
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	11
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	7
四類 感染症	E型肝炎	0	0	0	0	0	2	9	331
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	0	2	59
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	17
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	9
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	13
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	1
	サル痘	0	0	0	0	0	0	1	5
	ジカウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	3	100
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	1	5
	つつが虫病	0	0	0	0	0	2	3	101
	デング熱	0	0	0	0	0	0	2	56
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	24	305
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	1
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ボツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	2	20	
野兔病	0	0	0	0	0	0	0	0	
ライム病	0	0	0	0	0	0	2	13	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	2	
レジオネラ症	0	1	1	0	1	26	51	1616	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	4	24	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

分類	疾病名	(週)					累計	全国	
		35	36	37	38	39		39	累計
五類感染症	アメーバ赤痢	0	0	0	0	0	3	14	405
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	1	0	0	1	1	152
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	1	0	0	0	9	36	1355
	急性弛緩性麻痺	0	0	0	0	0	0	0	20
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	0	6	284
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	6
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	0	1	129
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	5	5	546
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	0	0	0	18	646
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	1	29
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	0	1	128
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	2	0	5
	侵襲性肺炎球菌感染症	0	0	0	0	0	4	5	883
	水痘 (入院例)	0	0	1	0	0	5	3	233
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	1	0	1	0	1	24	184	9312
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	1	2	6	111
	破傷風	0	0	1	0	0	1	2	76
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	107
百日咳	0	0	0	1	1	4	6	360	
風しん	0	0	0	0	0	0	0	11	
麻しん	0	0	0	0	0	0	1	6	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	11	
※	新型コロナウイルス感染症	6431	5146	3475	2841	2186	105717	208663	19555106

※新型インフルエンザ等感染症として新型コロナウイルス感染症 (令和3年2月13日～)

今注目の感染症

手足口病

手足口病は、口の中や手足に現れる水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症で、乳幼児を中心に夏季に流行します。3-5日間の潜伏期間の後に、口の中、手のひらや足などの四肢末端に2-3mmの水疱性発疹が出現します。ときに肘、膝、臀部などにも出現することがあります。基本的には数日のうちに治癒する予後良好の疾患ですが、稀に髄膜炎や小脳失調症、脳炎などの中枢神経系の合併症を引き起こす場合があります。

感染経路は飛沫感染と接触感染のほか、便中にもウイルスが排出されるため、そこから感染する場合もあります。感染を防ぐために、手洗いをしっかり行うこと、患者との濃厚接触やタオルの共用を避けることが重要です。

【参考】

手足口病とは (国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/441-hfmd.html>

手足口病に関するQ&A (厚生労働省)

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekakaku-kansenshou19/hfmd.html>

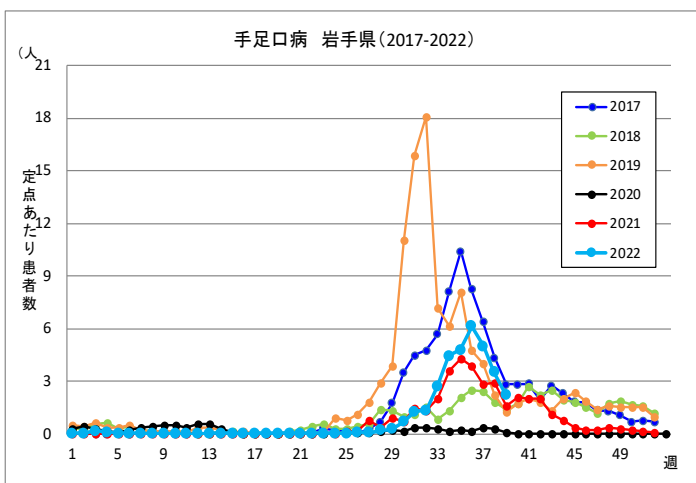


図1 岩手県における週別患者報告数 (2017年～2022年第39週)

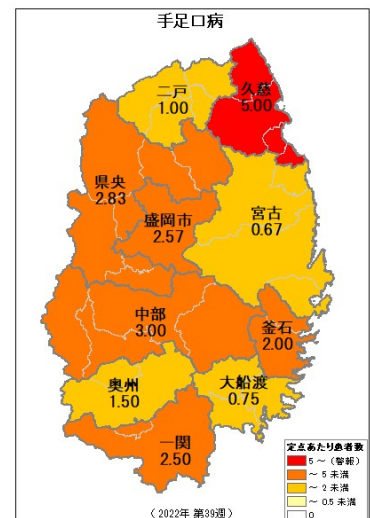


図2 第39週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区画データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。
 ※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報)電子国土基本図(地図情報)を使用した。(承認番号 平29情使、第675号)

今注目の感染症

梅毒

梅毒は、感染力が強い『梅毒トレポネーマ』というらせん状の細菌によって引き起こされます。主に、感染している人の病変部（性器、口唇部、口腔内、肛門等）と直接接触する性行為や疑似性行為により、梅毒トレポネーマが粘膜や皮膚などの傷口から侵入して感染します。

感染後3週間程度の潜伏期間の後に、感染部位にしこりや潰瘍がみられるようになりますが、数週間程度で症状がなくなります（早期顕症Ⅰ期）。その後、治療せずに数週間～数か月経過すると、病原体が血液によって全身に運ばれ、手のひらや足の裏、体全体に発疹がみられるようになります（早期顕症Ⅱ期）。さらに、感染後数年～数十年経過すると、皮膚や筋肉、骨などにゴムのような腫瘍、心臓、血管、脳などの複数の臓器に病変が生じる場合があります（晩期顕症）。妊娠している人が梅毒に感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、早産、新生児死亡や奇形が起こることがあります（先天梅毒）。

早期顕症と晩期顕症の間には症状が消える無症候期がありますが、体内には梅毒トレポネーマが残っており、感染を広げる恐れがあります。この無症候期が診断・治療の遅れにつながるため、注意が必要です。また、終生免疫は得られないため、再感染する可能性があります。

全国では、2013年以降は報告数が増加傾向に転じ、2022年第35週の時点で過去最多を更新しています（図1）。男女の異性間性交渉での感染が増加しているほか、性風俗店利用者での梅毒の報告数が増加しています。岩手県では2016年に9例、2017年に16例、以降は2桁の報告数が続いています（図2）。

梅毒は早期発見、早期検査、早期治療が重要です。感染が疑われる症状がみられた場合は、早めに医師の診察や治療を受けましょう。また、感染していたことが判明した場合は、周囲で感染の可能性がある人（パートナー等）と一緒に検査を受け、必要に応じて治療を行うことが重要です。

岩手県では、県内各保健所において、匿名・無料で梅毒検査を行っています。他の性感染症も含め、適切な予防対策をとり、症状がみられる場合など不安がある場合は、検査や医療機関を受診するよう心がけましょう。

【参考】

- ・梅毒とは（国立感染症研究所）
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/465-syphilis-info.html>
- ・梅毒に関するQ&A（厚生労働省）
https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/seikansenshou/qanda2.html
- ・梅毒検査について（岩手県）
<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/kenkou/aids/1003196.html>

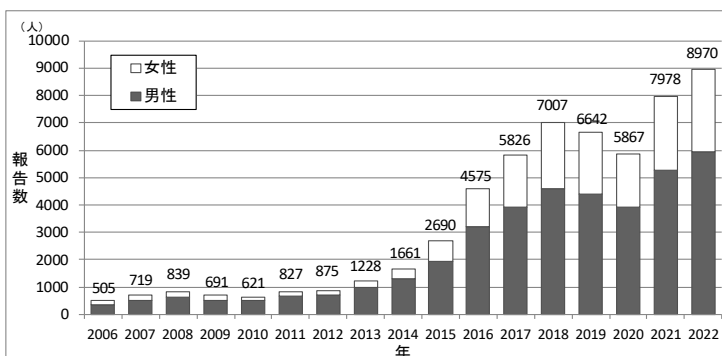


図1 全国の梅毒報告数 (2006～2022年第38週)

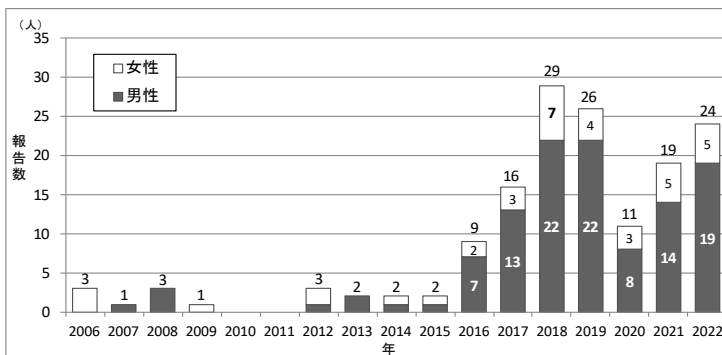


図2 岩手県の梅毒報告数 (2006～2022年第39週)

今注目の感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は、ベロ毒素 (Vero toxin = VT、またはShiga toxin = Stx と呼ばれる) を産生する大腸菌 (図1) によって引き起こされる感染症です。症状は、無症状から軽度の下痢、激しい腹痛、頻回の水様便、著しい血便と様々です。更に、溶血性尿毒症症候群による腎不全や脳症などの重篤な合併症を引き起こす場合もあります。

岩手県では、例年夏季を中心に報告数が増加します (図2)。2022年第39週までに70例 (盛岡市13例、県央地区17例、中部地区2例、奥州地区14例、一関地区14例、大船渡地区5例、釜石地区1例、久慈地区2例、二戸地区2例) の報告がありました。第39週の地区別報告数は図3のとおりです。原因となった大腸菌のO群種別にみると、O157が33例、O26が12例、O103が2例、その他が23例です。年齢層別発生状況は図4のとおりです。

予防対策として、食中毒予防の3原則 (食中毒菌をつけない、増やさない、やっつける) を徹底し、生肉や加熱不十分な肉を食べないことが重要です。また、ヒトからヒトへの二次感染を防ぐため、食事の前やトイレの後などには石けんと流水による手洗いを行うことが重要です。

【参考】

- 腸管出血性大腸菌感染症とは (国立感染症研究所)
<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/439-ehcc-intro.html>
- 腸管出血性大腸菌Q&A (厚生労働省)
<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000177609.html>



図1 腸管出血性大腸菌O157:H7の電子顕微鏡写真 (15,000倍)
 -国立感染症研究所HPより-

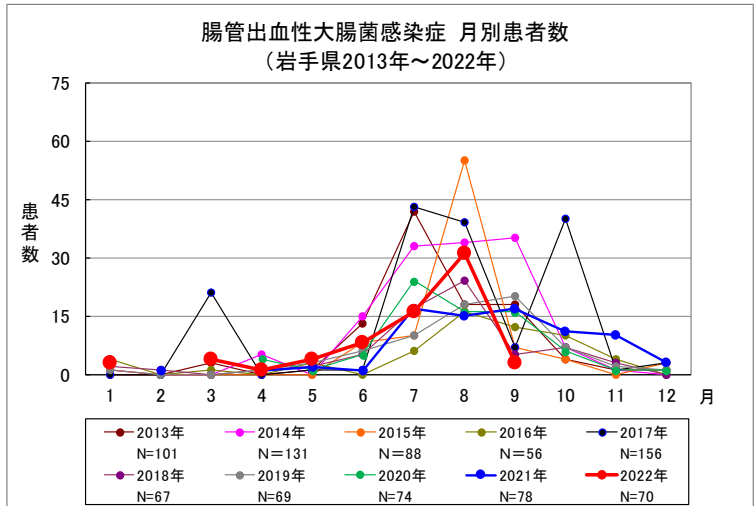


図2 岩手県の過去10年の月別発生状況 (2013年～2022年第39週)

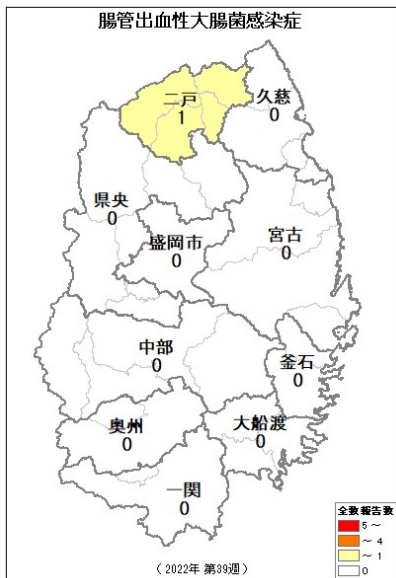


図3 第39週の保健所管内別の状況

※国土交通省国土政策局「H29年1月1日時点国土数値情報 (行政区域データ)」をもとに岩手県が編集・加工した。
 ※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 (国土基本情報) 電子国土基本図 (地図情報) を使用した。 (承認番号 平29情使、第675号)

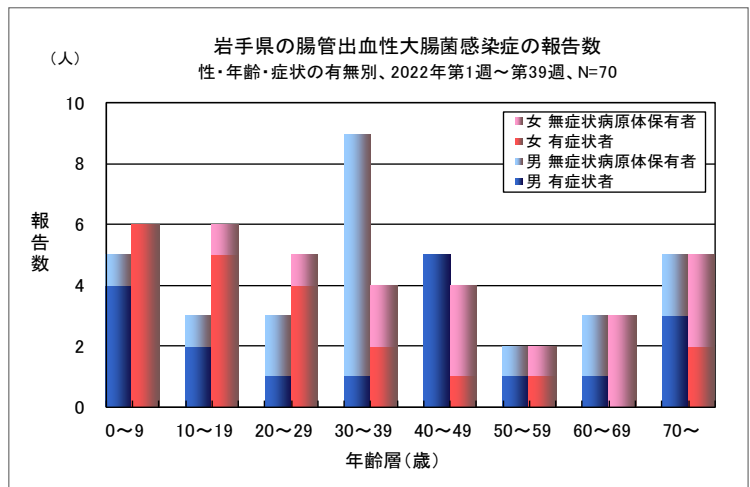


図4 岩手県の年齢性別発生状況 (2022年第1週～第39週)

今注目の感染症

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、コロナウイルス科ベータコロナウイルス属の新型コロナウイルスによる急性呼吸器症候群です。令和3年2月13日に指定感染症から新型インフルエンザ等感染症になりました。

国内の発生状況は図1 (厚生労働省HPより)のとおりです。岩手県では、県内初の報告が2020年7月29日に2例あり、2020年は394例、2021年は3101例の報告がありました。2022年は第39週までに105717例が報告されています。予防には、咳エチケットや手洗いなど普段からの感染症予防対策に努めていただくとともに、「3つの密」(換気の悪い密閉空間、人が多数集まる密集場所、間近で会話や発声をする密接場面)を避けるようにしましょう。

環境保健研究センターで行っている新型コロナウイルスのPCR検査件数と陽性件数の推移、岩手県の新型コロナウイルス陽性者の年齢層別は図2および図3のとおりです。当センターにおける検査は、2020年2月上旬から開始しました。2022年第9週の検査件数は1138件で開始以来の最多になり、第39週は45件(陽性8件)でした。

図2のグラフは、2022年9月26日から「全数把握」の全国一律の見直しにより、男女合算の年齢別集計となっています。



<<<岩手県の電話相談窓口>>>

○受診・相談センター (コールセンター)

受付時間 24時間 全日 (土日・祝日含む)

TEL:019-651-3175 FAX:019-626-0837

- ①発熱等の症状が生じた場合は、まず「かかりつけ医」に電話でご相談ください。
- ②相談先に迷う場合や「かかりつけ医」がない場合は、「受診・相談センター」にご相談ください。
- ③①または②での紹介・案内に従い、「診療・検査医療機関」を受診してください。

詳しくは、岩手県の新型コロナウイルス感染症のホームページを御覧ください。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/iryuu/covid19/index.html>

また、新型コロナウイルス感染症の最新情報については、厚生労働省及び国立感染症研究所のホームページで随時更新されています。ご確認をお願いします。

◆参考

新型コロナウイルス感染症について－厚生労働省－

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

新型コロナウイルス (2019-nCoV)関連情報について

－国立感染症研究所－

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/9324-2019-ncov.html>

図1 全国の新型コロナウイルス新規陽性者数(～10/5)

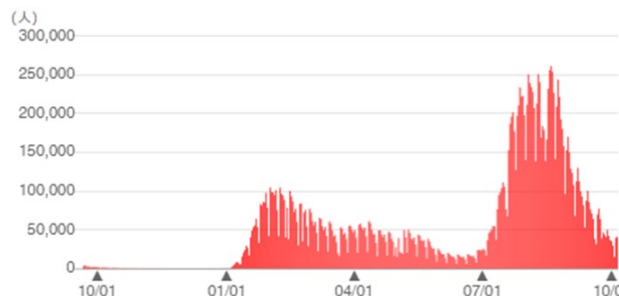


図2 岩手県における新型コロナウイルス感染症の報告数 年齢層別 2022年第1週から第40週現在、N=107551

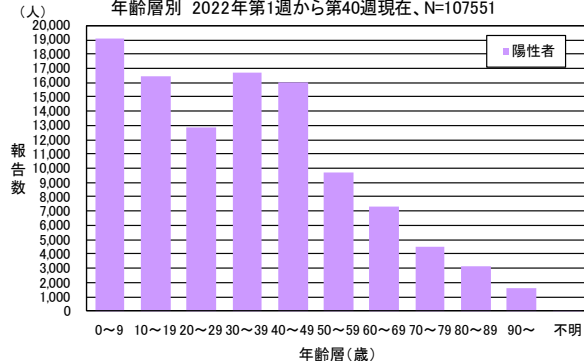
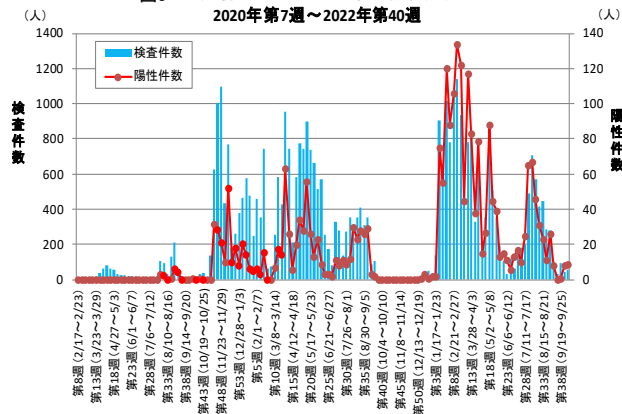


図3 週別新型コロナウイルス検査件数(人) 2020年第7週～2022年第40週



集団感染情報

- ・この週には集団感染情報はありません。

病原体検出情報

- ・この週には病原体検出情報はありません。



医療機関からの情報

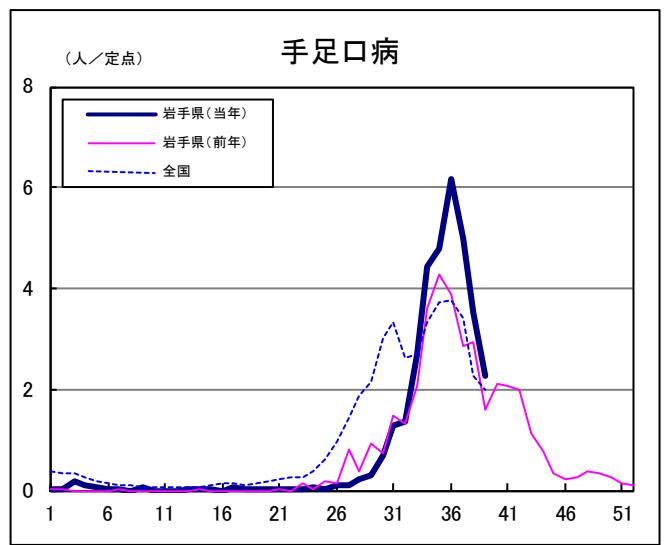
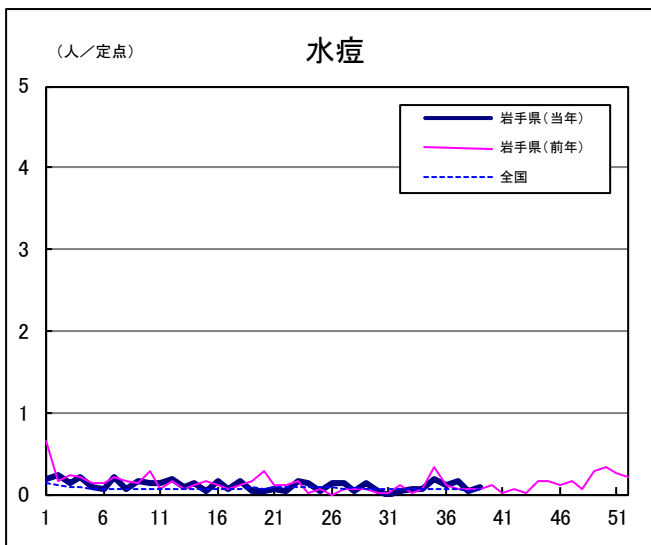
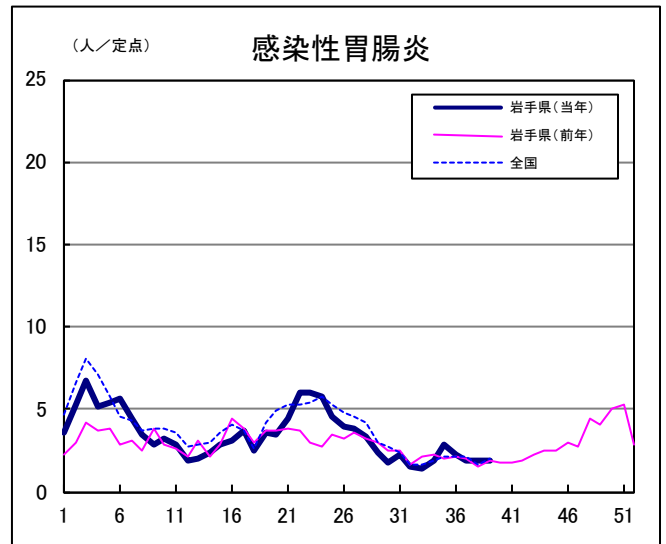
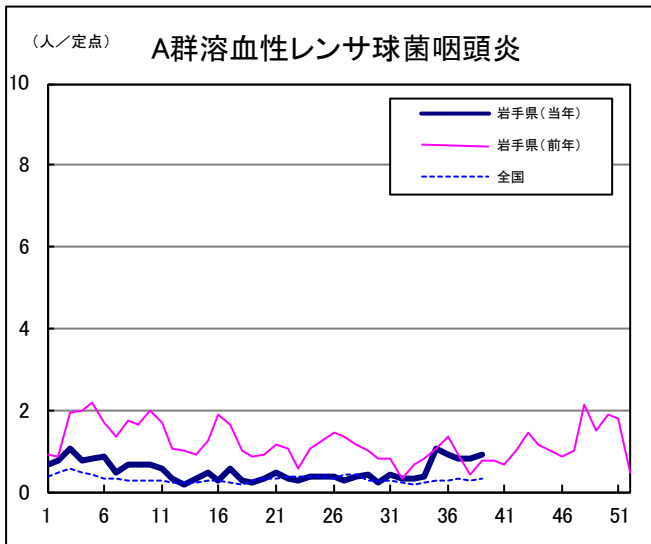
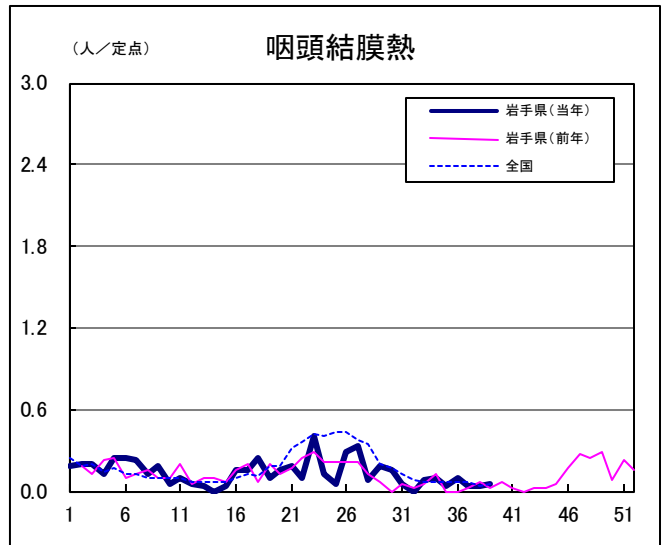
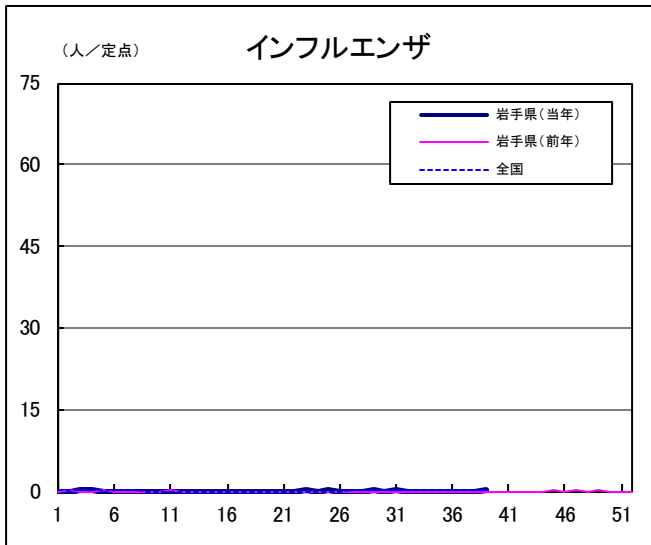
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

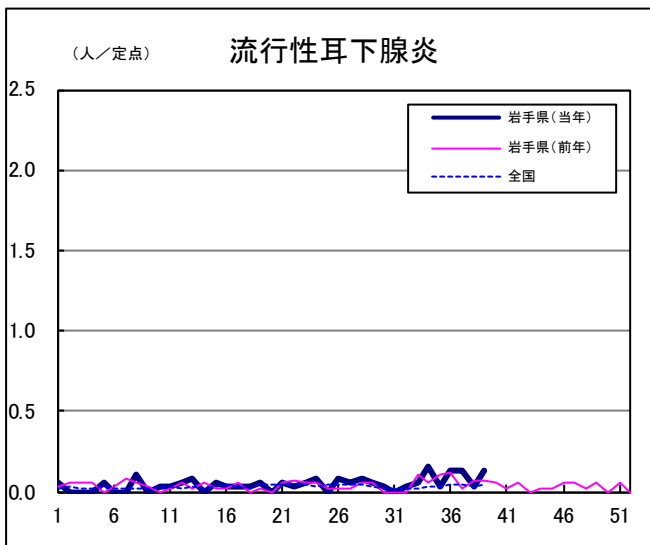
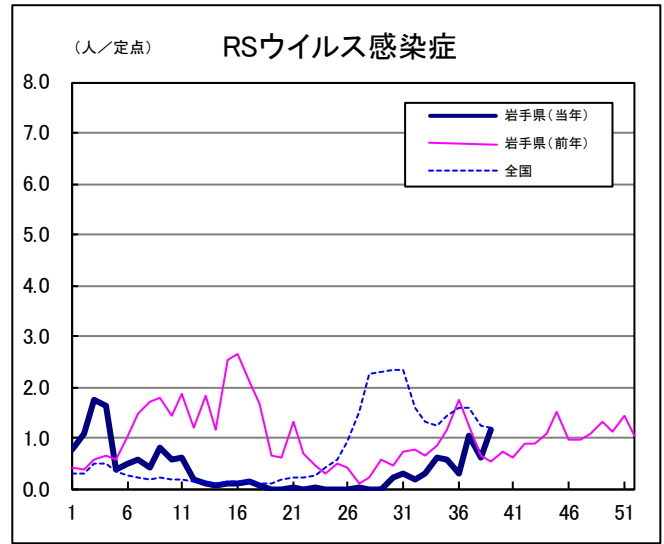
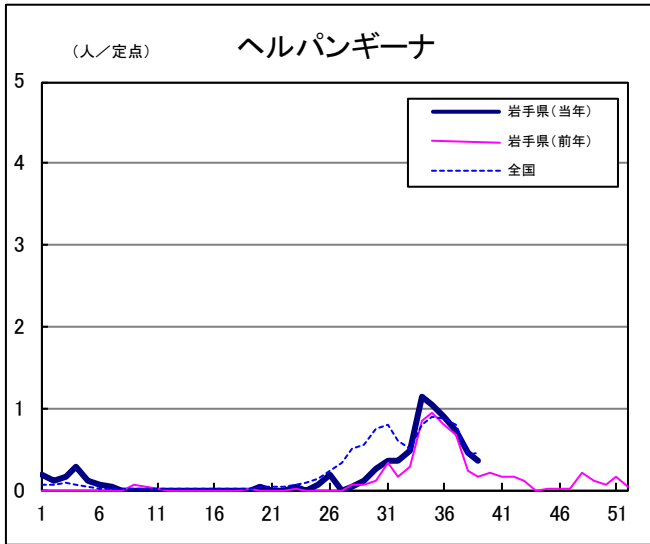
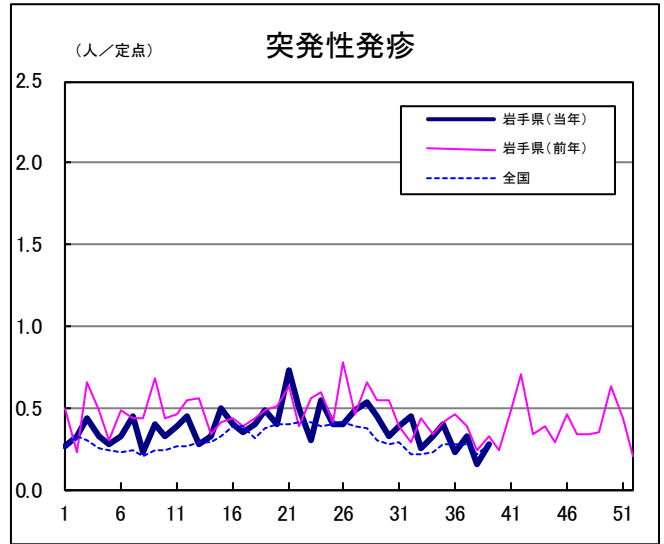
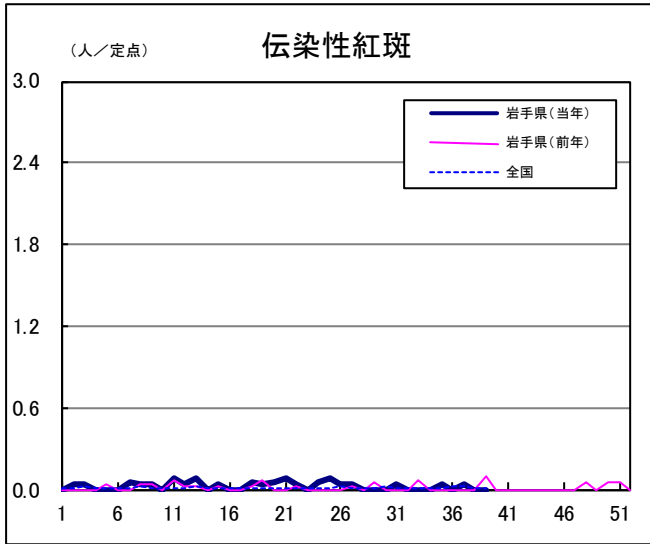
Q & A

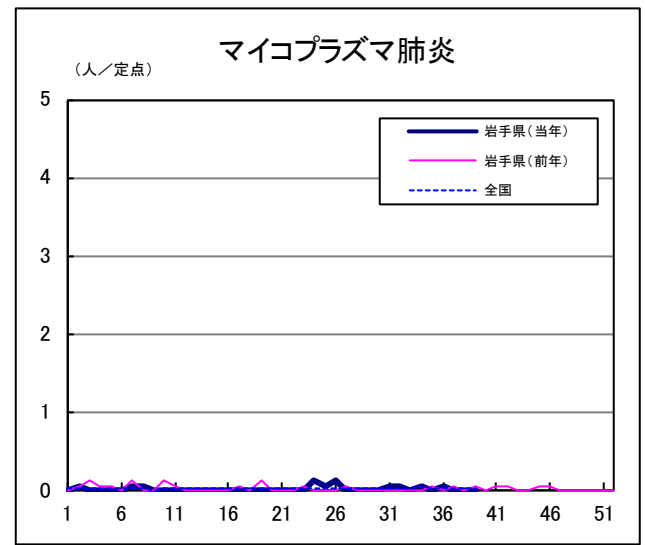
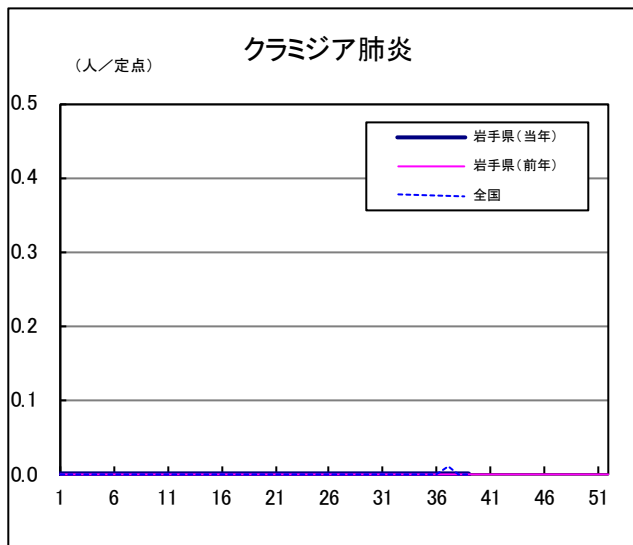
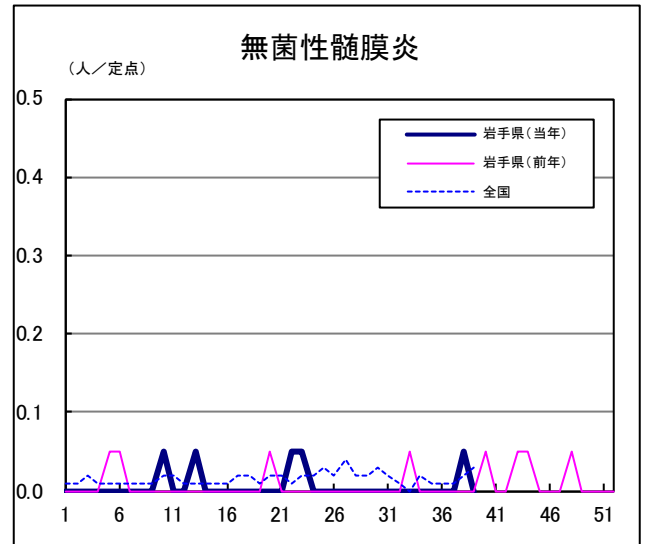
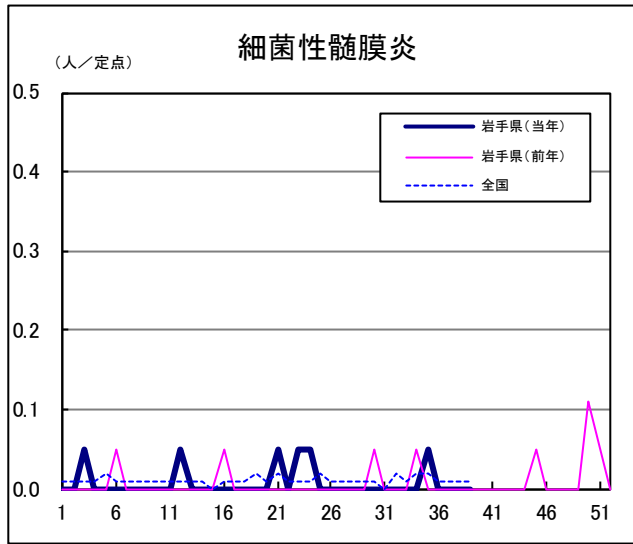
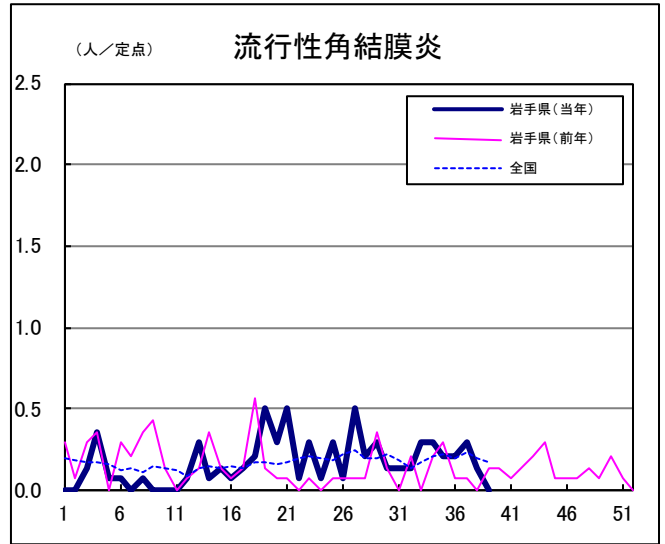
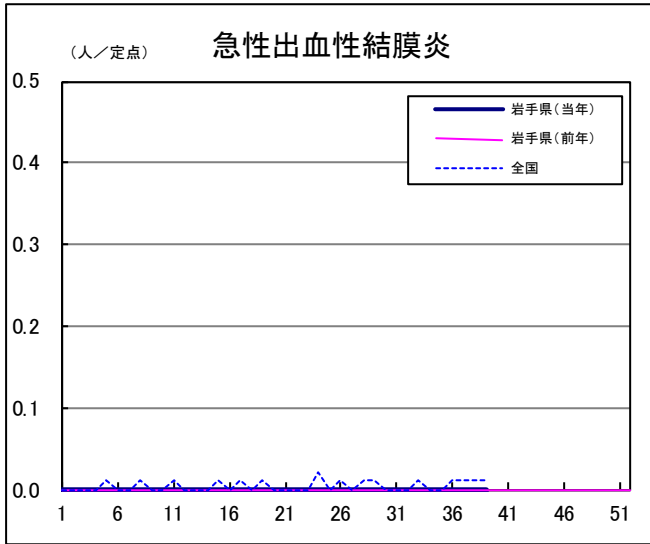
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別	インフル エンザ	小児科 定点	眼科定点	基幹定点
岩手県		63	40	14	19
盛岡市		11	7	3	4
県央		9	6	2	1
中部		10	6	2	4
奥州		7	4	1	2
一関		7	4	1	2
大船渡		5	4	1	1
釜石		3	2	1	1
宮古		5	3	1	1
久慈		3	2	1	1
二戸		3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 令和4年第39週 令和4年10月7日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<https://www.pref.iwate.jp/soshiki/hofuku/1016013.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>